



文協おおぶ

~勤労文化会館を文協の活動拠点に!~

【発行】大府市文化協会 大府市中央町五丁目70 大府市役所文化国際課内 TEL(0562)45-6266

第13回 文協歌謡祭
主催/大府市文化協会 主管/大府市文化協会歌謡祭実行委員会 後援/大府市教育委員会

勤労文化会館を気軽に利用しましょう!

文協では次世代を担う小中学生の受け入れや交流を希望していたところ、大府中学校より二、三年生の選択授業のメニューに「文協の力を借りしたい」との要請がありました。文協とし
て積極的に協力することにし、四月から既に八団体が授業をしています。文化を通じて地域と学校との連携が必要な文化を持つ都市にと願っています。文
化を通じて趣味を通じて楽しみ生きが多いを得ています。この喜びを一人でも多くの人に広げ、仲間を増やし心豊かな文化を育んでいきます。文協創立三十周年を迎えます。

記念事業、記念式典、記念誌の発行など皆様のご意見を聞きながらのご支援ご協力を得て進めて参ります。これからも会員の皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。

大府市文化協会会長

深谷 良一

文協三十年目の飛躍に向けて
会員の皆様には平素から文協事業に積極的なご協力を賜りまことにありがとうございます。

本年四月より、大府市勤労文化会館(勤文)の指定管理者として会館の管理運営を市より委託されました。この経緯につきましては理事会、評議員会で何度も審議検討を繰り返し文協の将来を見据え、大府市の文化の拠点である勤文を文協の拠点として活用できることが会員のために有効であるとの結論に達しました。現在は管理運営の現状を把握し、利用しやすい楽しい会館にすべく勉強中です。



◆大府中学校選択授業への支援

先年度末



に、大府中学校の林校長先生から、同校の選択教科指導に、

文化協会から
講師派遣のお願いがありまし

た。

協議した結果、若人に文化協会を理解して貰う良い機会となるので、支援団体を募集しましたところ、府柳クラブ・川柳会・としのわ短歌会・大府マジッククラブ・ダンスレインボー・大府市社交ダンスクラブ・文協ひじり詩吟・和太鼓櫻・木目込み人形同好会の八団体十五人の方々にお願いすることになりました。授業は四月二十四日から行われています。

(事務局)

来賓各位のご祝辞を戴いた後、議事に移りました。

平成十七年度の事業報告あり、十八年度の事業計画・予算案の協議が行われました。



◆勤労文化会館新体制で発足
四月一日から大府市文化協会が勤労文化会館の管理・運営を行うことになりました。理事長に文化協会会长が、理事に文協役員七人、監事に二人が就任し、高田事務局長、前田加藤両補佐を迎えて、十三人の指導員とともに新たな出発をしました。今回の文化協会への管理者指定は、全国的にも珍しく大変注目されておりま

す。
今年度から、勤労文化会館を指定管理者

制度の導入により、文協が管理者として受託することになりました。この四月一日から仕事がスタートしたとの報告がありました。

引き続き各委員会より、新年度の実施事業について協力依頼と連絡事項があり、総会は終了しました。

(事務局)



◆春の香り漂う盆梅展
第十五回大府盆梅展が二月十三日から十九日まで大倉公園で開催され、暖かな日差しに誘われ県内外から多くの人々が訪れました。日本盆栽協会東知多支部、大府市文化協会大府盆栽会の会員が愛情込めて育てた紅梅、白梅、そして樹齢二五〇年の見事な盆梅等、約七十点が同公園の管理棟・休憩棟に分けて出展され、白、紅など色々な可愛らしい花が春の香りを漂わせていました。今年の冬は寒い日が多く、開花は全体的に遅れ気味でしたが会員の丹精込めた盆梅に訪れた方々は、感動感心の様子でした。会場では他に文協の「府柳クラブ」の色紙、短冊の展示、「茶華

を行なうことは、何かと難しい点がありますが、大府市の文化活動の中心施設である勤文を、文化協会が将来の活動拠点として育てていきたいと思います。

◆平成十八年度総会報告

(事務局)

四月二十三日(日)市役所多目的ホールにて、平成十八年度総会が開催されました。

市長を始め

来賓各位のご祝辞を戴いた後、議事に移りました。

(事務局)

◆春の香り漂う盆梅展

第十五回大府盆梅展が二月十三日から十九日まで大倉公園で開催され、暖かな日差しに誘われ県内外から多くの人々が訪れました。日本盆栽協会東知多支部、大府市文化協会大府盆栽会の会員が愛情込めて育てた紅

梅、白梅、そして樹齢二五〇年の見事な盆梅等、約七十点が同公園の管理棟・休憩棟に分けて出展され、白、紅など色々な可愛らしい花が春の香りを漂わせていました。今年の冬は寒い日が多く、開花は全体的に遅れ気味でしたが会員の丹精込めた盆梅に訪れた方々は、感動感心の様子でした。会場では他に文協の「府柳クラブ」の色紙、短冊の展示、「茶華

を行なうことは、何かと難しい点がありますが、大府市の文化活動の中心施設である勤文を、文化協会が将来の活動拠点として育てていきたいと思

◆第十三回文協歌謡祭

(大府市盆栽会会長 波多野正登志)

道連盟」の茶席も設けられ、初日には琴や尺八の演奏も有り、午前中は甘酒の振る舞いもありました。毎年開催致しますので一度大府盆梅展にご来場下さい。



◆勤労文化会館新体制で発足
四月一日から大府市文化協会が勤労文化会館の管理・運営を行うことになりました。理事長に文化協会会长が、理事に文協役員七人、監事に二人が就任し、高田事務局長、前田加藤両補佐を迎えて、十三人の指導員とともに新たな出発をしました。今回の文化協会への管理者指定は、全国的にも珍しく大変注目されておりま

す。
今年度から、勤労文化会館を指定管理者

制度の導入により、文協が管理者として受託することになりました。この四月一日から仕事がスタートしたとの報告がありました。

引き続き各委員会より、新年度の実施事業について協力依頼と連絡事項があり、総会は終了しました。

(歌謡祭実行委員長 山本健三)

◆つつじまつり茶席を担当して

新緑の美しい公園で四月二十二・三日に開催されました。初日は、宗偏流早川宗喜が、二日目は、裏千家の角田宗春が茶席を担当いたしました。幸いにも穏やかな陽ざしに恵まれ、本席及び野点に多数のご入席をいただき嬉しく思っております。

茶道の心は、簡素・知足・共生といわれています。現代人には、やゝもすると失われつつあることはないかと思います。私は、これからもこの理念を大切にして、後進の指導にあたりたいと思います。

その昔、大倉郷・賀陽宮が楽しまれたお邸とか、今は、市民のものとなりみんなで春の一日を楽しむことができて、本当によかったですと感謝いたしております。

(茶華道連盟 早川宗喜)



◆色とりどりの一日前 (文協まつり)

（文協まつり）



◆第三十回芸能祭を終えて

吹く風に夏の気配を感じられる五月二十八日(日)「大府市文協まつり第三十回芸能祭」の幕は上がった。

記念式典では、大府市長をはじめ来賓各位の祝詞を賜り、三十回の歴史ある式典となりました。

舞台は、講師のご出演では上は九十三才、そして若い人の力強い演技、



呈茶席は、数少ないお抹茶との巡り合いの機会という人も多いようです。今回初参加の「ひょうたん展」は、大小様々、極彩色に絵付けされたもの等多彩で人目をひきました。これからも新しい仲間の参加を歓迎します。

ご協力いただきました関係者各位に

厚く御礼申し上げます。

(文協まつり実行委員長 百合草忠男)

四才の可愛らしい子どもたちの熱演に満場の拍手、それを支えるスタッフの大きな力が一体となつた日、文協芸能祭は次世代へと受け継がれつつあり盛会の内に幕は降りました。ご協力いただきました関係者各位に心よりお礼申し上げます。

(芸能祭実行委員長 加藤弘子)



◆新規加入者団体

【大府三線会】

今年度より大府市文化協会芸能部に新しく参加させて頂く事になりました。「大府三線会」です。会のなれそめは、三年前北山公民館において、三線会の講師佐田幸一先生が、公民館より依頼を受け、約二か月間津軽三味線の講座を実施し、その生徒さんたちが主体となり大府三線会を結成しました。現在会員十数名で、毎週木曜午後五時から九時まで津軽民謡を中心とした三味線と唄で日本各地の民謡の研鑽に励んでいます。また公民館の各種行事や芸能祭はじめ、他市の催し等に参加、「明るく楽しく」をモットーに活動しております。宜しくお願ひします。



(大府三線会会長) 門間 扶
このたび文協に入会させていただ
き誠にありがとうございます。ただ
平成十三年に五名で一度栽培して
みようと作つてみたところ、見たこ
ともない大きなひょうたんが成りび
っくりしたのがきっかけで始めました。現在六年目ですが、愛知県、全
国展示会においても金賞をいただく
ようになりました。今は米田地区では有名と
なり、少しでも多くの人に楽しんでもらおう
と保育園、公民館でも栽培しています。私は
標とし、土づくりから日々頑張っています。
問合せ先 花井益夫

(電) ○五六二一四
七一五六五一
(大府愛瓢会会长) 花井益夫

◆五十五周年記念句集

「府柳」第十集発刊

府柳クラブ川柳会では、五十一名の会員が、この五年間に詠んだ川柳の中から珠玉の作品二十句を選び、約会員の顔写真と共に掲載した句集を発行しました。

川柳は、①気軽に始めて一生楽しめ ②コツをつかめば誰でも簡単に句が作れ ③観察眼が養え頭の体操になり気分転換に最適です。

川柳会では、個人又はグループで、ご希望により「川柳の基本・作句法・作品添削」などの入門講座を出張して行なっています。お気軽に問い合わせ下さい。

(府柳クラブ川柳会会长) 藤井芳雄



●事務局新旧挨拶

前文化推進員 柴田ふさ子

昭和六十一年四月
より本年三月まで、
二十年間社会教育推進員として勤めさせ

文協音楽祭(市合唱祭共催)
受講料 五百円

社交ダンス交流会
三月四日(日)

(勤労文化会館くちなしホール)

十月二十一日(日)

(勤労文化会館くちなしホール)

十一月二十七日(火)～二十二日(日)

(愛知県美術館)

県文連美術展
十月十七日(火)

(常滑市民文化会館)

県民茶会
十一月五日(日)

(東海市しあわせ村)

○各団体事業
大府市民吹奏楽団
第二十七回定期演奏会
九月二十四日 午後二時開演

魅力ある紙面づくりに御協力を、部門のPR、
近況報告等々お待ちしています。事務局又は編
集委員まで。

新文化推進員 加藤さとみ



大ベテランの柴田さんとのあとを引き継いで、この四月から事務局をつとめさせ

て頂いております加藤です。

Aコープ大府店二階
J Aギャラリー大府
入場料 無料

◎文協主催事業
芸能第一・第二・趣味第一部門出演
九月十六日(土) (大府市民体育館)

大府市産業文化まつり
文芸・美術・趣味・園芸・生け花出展、
吹奏楽演奏

十月二十八日(土)～二十九日(日) (大府市民体育館)

第十六回大府盆梅展
大府市盆栽会・府柳クラブ・ことね会・茶華道連盟 (大倉公園)

十二月二十八日(月)～十八日(日) (大府市文化会館)

大府泉詩吟俱乐部
文協脱退団体
大府絵手紙同好会

大府市民吹奏楽団
管弦樂團
第二十五回定期演奏会
十一月二十六日(日) (勤労文化会館)

十一月五日(日) (勤労文化会館)

市文化協会相談役
文協創立以来、本部の中心的役員として現在の文協を育て上げ、三代の会長を補佐され、温厚な人柄と卓越した学識は文協にはなくてはならない人でした。

学校長退職後の二十九年間を文協一筋に捧げ尽くされたお姿を私たちは忘れません。安らかに。

逝去 平成十八年四月二十五日
享年 八十九歳

氏は昨年十月、瑞寶雙光章を叙勲されました。

市文化協会相談役
多和田善平氏
としのわ短歌会会員

文協創立以来、本部の中心的役員として現在の文協を育て上げ、三代の会長を補佐され、温厚な人柄と卓越した学識は文協にはなくてはならない人でした。

学校長退職後の二十九年間を文協一筋に捧げ尽くされたお姿を私たちは忘れません。安らかに。

逝去 平成十八年四月二十五日
享年 八十九歳

氏は昨年十月、瑞寶雙光章を叙勲され

ました。

これからも大府市文化協会の発展

になり、私の人生の中でこの上ない貴重な経験を誇りに思い、いつまでも大切にして行きたいと思つています。

これまで大変多くの方々にお世話を

していただきましたこと、皆様の温か

いご指導のお陰と心より感謝お礼申

し上げます。

これまで大変多くの方々にお世話を

になり、私の人生の中でこの上ない

貴重な経験を誇りに思い、いつまでも大切にして行きたいと思つています。

これからも大府市文化協会の発展

を願つて、一役員として微力ながらお手伝いさせていただきますので、

よろしくお頃い申し上げます。

編集後記